

9:14 こうして、ニムシの子ヨシャファテの子エフーは、ヨラムに対して謀反を起こした。先にヨラムはイスラエル全軍を率いて、ラモテ・ギルアデでアラムの王ハザエルを防いだが、

9:15 ヨラム王は、アラムの王ハザエルと戦ったときにアラム人に負わされた傷を癒やすため、イズレエルに帰っていたのである。エフーは言った。「もし、これがあなたたちの本心であるなら、だれもこの町から逃れ出て、イズレエルに知らせに行ってはならない。」

9:16 それからエフーは車に乗ってイズレエルへ行った。ヨラムがそこで床についていて、ユダの王アハズヤもヨラムを見舞いに下っていたからである。

9:17 イズレエルのやぐらの上に、一人の見張りが立っていたが、エフーの軍勢がやって来るのを見て、「軍勢が見える」と言った。ヨラムは、「騎兵一人を選んで彼らを迎えに送り、元気かどうか尋ねさせなさい」と言った。

9:18 そこで、騎兵は彼を迎えに行き、こう言った。「王が、元気かどうか尋ねておられます。」エフーは言った。「元気かどうか、おまえの知ったことではない。私のうしろについて来い。」一方、見張りは報告して言った。「使者は彼らのところに着きましたが、帰って来ません。」

9:19 そこでヨラムは、もう一人の騎兵を送った。彼は彼らのところに行き、「王が、元気かどうか尋ねておられます。」すると、エフーは言った。「元気かどうか、おまえの知ったことではない。私のうしろについて来い。」

9:20 見張りはまた報告した。「あれは彼らのところに着きましたが、帰って来ません。しかし、車の御し方は、ニムシの子エフーの御し方に似ています。狂ったように御しています。」

9:21 ヨラムは「馬をつけよ」と命じた。馬が戦車につけられると、イスラエルの王ヨラムとユダの王アハズヤは、それぞれ自分の戦車に乗って出て行った。彼らはエフーを迎えに出て行き、イズレエル人ナボテの所有地で彼に出会った。

9:22 ヨラムはエフーを見ると、「エフー、元気か」と尋ねた。エフーは答えた。「何が元気か。あなたの母イゼベルの姦淫と呪術が盛んに行われているのに。」

9:23 それでヨラムは手綱を返して逃げ、アハズヤに「裏切りだ、アハズヤ」と叫んだ。

9:24 エフーは力いっぱい弓を引き絞り、ヨラムの胸を射た。矢は彼の心臓を射抜いたので、彼は戦車の中に崩れ落ちた。

9:25 エフーは侍従のビデカルに命じた。「彼を運んで、イズレエル人ナボテの所有地であった畑に投げ捨てよ。思い起こすがよい。私とあなたが馬に乗って彼の父アハブの後に並んで従って行ったときに、【主】が彼についてこの宣告を下されたことを。」

9:26 『わたしは、昨日、ナボテの血とその子たちの血を確かに見届けた——【主】のことば——。わたしは、この地所であなたに報復する——【主】のことば。』それで今、彼を運んで、【主】が語られたとおり、あの地所に彼を投げ捨てよ。」

民がそれに従った記事があります。ですから「これがあなたたちの本心であるなら…」というのは、自分が王となることを本心から望んでいるのなら…という意味です。それで彼ヨラムに謀反を悟られずに、彼に近づいて殺しました。

これは神によって計画されていたことです。ヨラムの両親はイゼベルとアハズであり、彼らは邪教に仕えてイスラエルに荒廃をもたらした者です。ですからこれは単なるクーデターではなく、背後に主が働かれています。

もちろんエフーは神の正義などは考えてもおらず、ただ自分の目的のための行動です。神に従わない人でも、その行動の背後には主が働いておられますから、私たちは難しい状況においても、主に期待することができるのです。

また主のご計画が進んだからといって、関わった者が正しいとは限りません。常に主に聞いてみこころを行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

この箇所には先立ち、エフーが謀反を起こして、

